



(2) 就職者の産業別就職状況を見ると、医療、福祉が926人（65.7%）で最も多く、次いで生活関連サービス業、娯楽業123人（8.7%）、情報通信業104人（7.4%）の順となっている。また、前年に比べそれぞれ5.8ポイント上昇、3.7ポイント上昇、4.0ポイント上昇となっている。

県内就職者を産業別で見ると、医療、福祉が653人（66.9%）で最も多く、次いで生活関連サービス業、娯楽業86人（8.8%）、宿泊業、飲食サービス業57人（5.8%）の順となっている。また、前年に比べそれぞれ6.0ポイント上昇、3.4ポイント上昇、0.5ポイント上昇となっている。

図8 産業別就職状況の推移（専修学校〔専門課程〕）

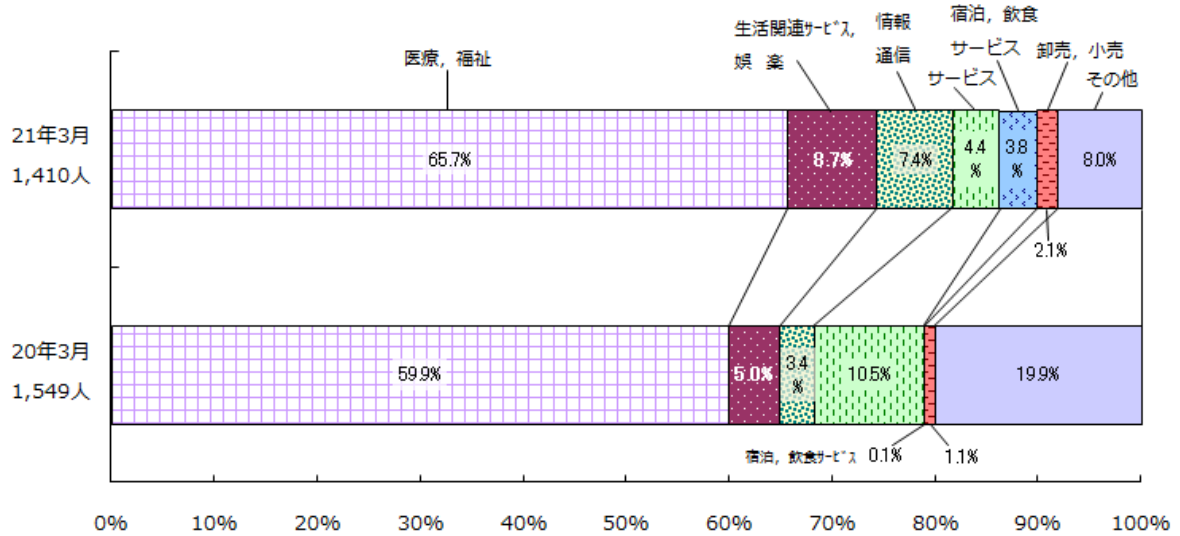


図9 産業別県内就職状況の推移（専修学校〔専門課程〕）

